

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和06年01月23日

計画の名称	一宮市における下水道の災害対策推進（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	一宮市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,816	A	1,816	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4末	R6末	R8末
1	下水道による浸水対策が必要な第1排水区・南部排水区のうち、既往最大降雨（112mm/h）に対して床上浸水被害が軽減できる面積の割合を0%（R4末）から100%（R8末）に増加させる。 浸水被害軽減対策達成率（%） 浸水被害対策済面積（ha）／第1排水区・南部排水区面積（ha）	0%	0%	100%
2	河川氾濫による浸水に対して、ポンプ場の揚水機能が確保できている集水区域面積の割合（揚水機能確保率）を33%（R4末）から88%（R7末）に増加させる。 揚水機能確保率（%） 揚水機能が確保できている集水区域面積（ha）／市内ポンプ場の全集水区域面積（ha）	33%	77%	88%
3	雨水吐口に設置されている樋門（遠隔操作できるものは除く）の無動力の樋門への改築を行い、無動力化達成率を83%（R4末）から100%（R6末）に増加させる。 無動力化達成率（%） 無動力樋門設置雨水吐口数（箇所）／樋門設置雨水吐口数（箇所）	83%	100%	100%
4	雨水排水区域（雨水ポンプ場による排水区域）の雨水排除機能確保（老朽化対策及び地震対策済）率を0%（R5末）から0%（R8末）にする。 雨水排除機能確保率（%） 雨水排除機能を確保した集水面積（ha）／雨水排水区域（雨水ポンプ場による排水区域）面積（ha）	0%	0%	0%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

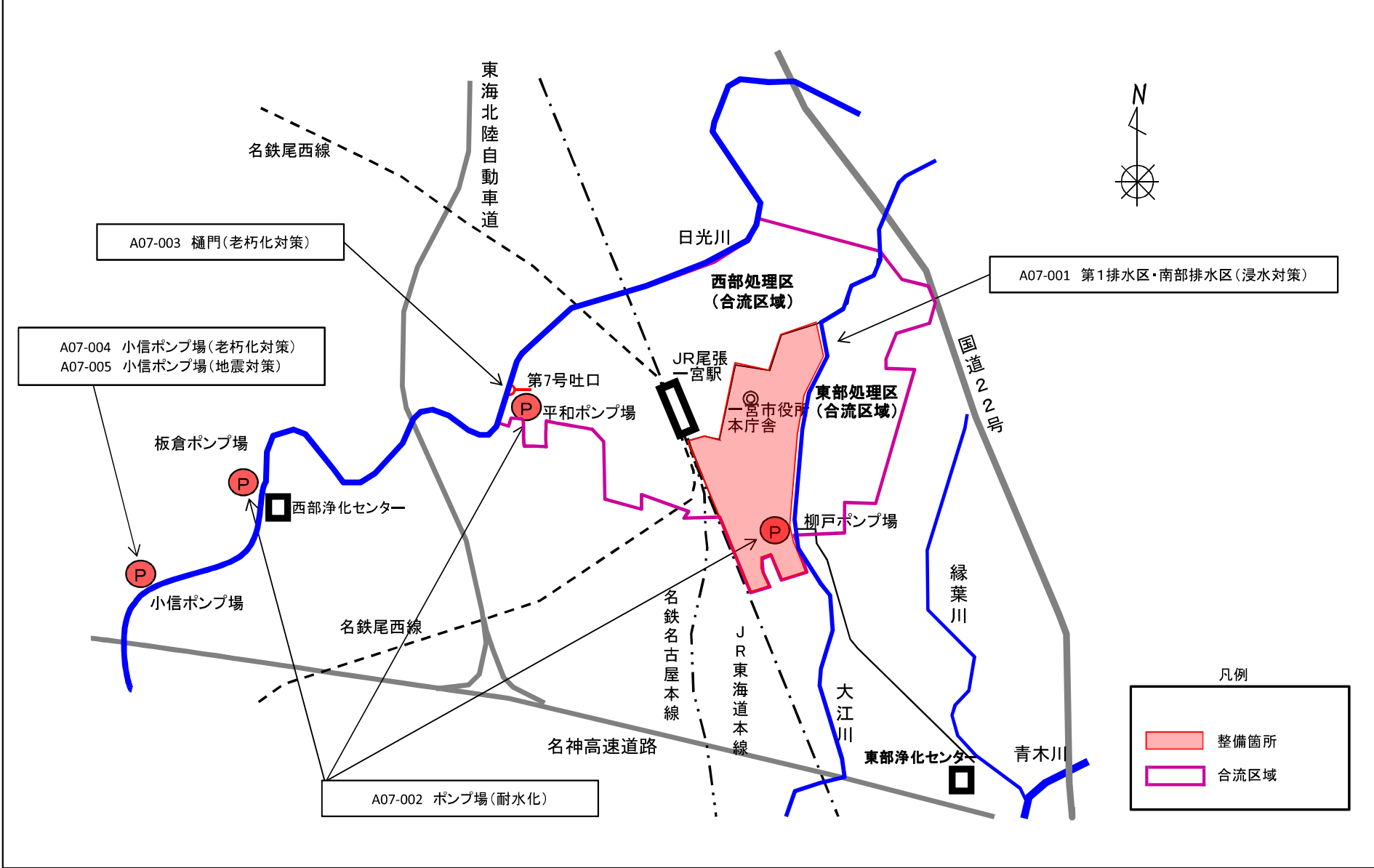
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	一宮市	直接	一宮市	管渠（ 合流）	新設	第1排水区・南部排水区 （浸水対策）	合流管118ha、管渠布設1,111 m	一宮市	■	■	■	■	■	1,270		—	
	A07-002	下水道	一般	一宮市	直接	一宮市	ポンプ 場	改築	ポンプ場（耐水化）	ポンプ場耐水化 3箇所	一宮市		■	■	■		124		策定済	
		一宮市上下水道施設耐水化計画																		
	A07-003	下水道	一般	一宮市	直接	一宮市	管渠（ 合流）	改築	樋門（老朽化対策）	無動力化 1箇所	一宮市		■	■			49		策定済	
		一宮市下水道ストックマネジメント計画																		
	A07-004	下水道	一般	一宮市	直接	一宮市	ポンプ 場	改築	小信ポンプ場（老朽化対 策）	ポンプ場老朽化対策 1箇所	一宮市			■	■	■	301		策定済	
		一宮市下水道ストックマネジメント計画																		
	A07-005	下水道	一般	一宮市	直接	一宮市	ポンプ 場	改築	小信ポンプ場（地震対策 ）	ポンプ場地震対策 1箇所	一宮市			■	■	■	72		—	
											小計						1,816			
											合計						1,816			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04				
配分額 (a)	50				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	50				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	50				
うち未契約繰越額 (g)	50				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	100				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	予算措置が令和4年度3月議会での補正予算対応となつたため				

計画の名称	一宮市における下水道の災害対策推進（防災・安全）（重点計画）		
計画の期間	令和4年度 ～ 令和8年度（5年間）	交付対象	一宮市



事前評価チェックシート

計画の名称： 一宮市における下水道の災害対策推進（防災・安全）（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等	○
I. 目標の妥当性 1) 上位計画と適合している。上位計画（社会資本整備重点計画、名古屋港海域等流域別下水道整備総合計画、全県域汚水適正処理構想）	○
I. 目標の妥当性 2) 一宮市公共下水道事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 3) 各種事業計画が策定され、適合している。各種事業計画（合流式下水道緊急改善事業）	○
I. 目標の妥当性 4) 各種法令（都市計画法、下水道法等）を遵守している。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	○
I. 目標の妥当性 地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 ①整備計画の目標と定量式指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ②事業の効果	○
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 ①円滑な事業執行の環境	○
III. 計画の実現可能性 1) 長期的収支計画の見直しが健全と判断される。	○

